

高知市長 定例記者会見

令和4年7月20日（水）10：00～
本庁舎6階会議室

高知市総務部政策推進室 広聴広報課

① 開 会

② 市長から説明

発表テーマ

- ① 新型コロナウイルス感染症最新情報
- ② 第491回高知市議会臨時会提出議案の概要
- ③ その他

③ フリー質問

④ 閉 会



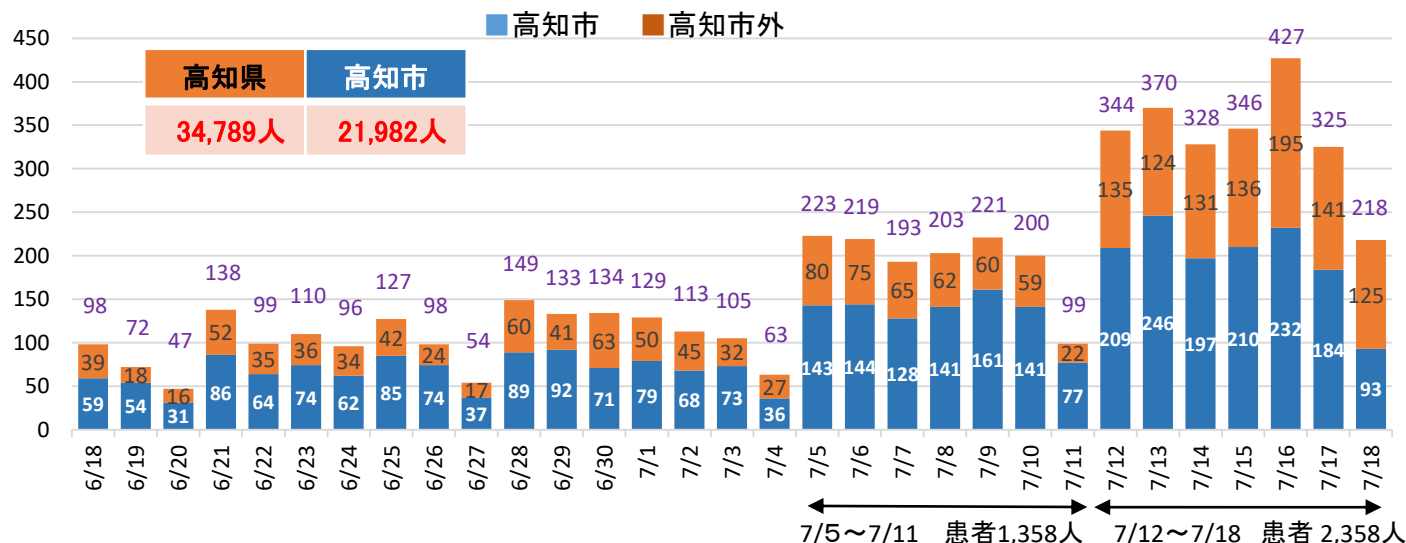
配布資料

発表テーマ関連資料

- (1) 新型コロナウイルス感染症最新情報
- (2) 第491回高知市議会臨時会提出議案の概要
- (3) 施設園芸等燃油価格高騰対策の拡充について（国資料）

1 6月18日以降の日発生数（発表日集計）

（1）高知県内の7月18日現在の状況



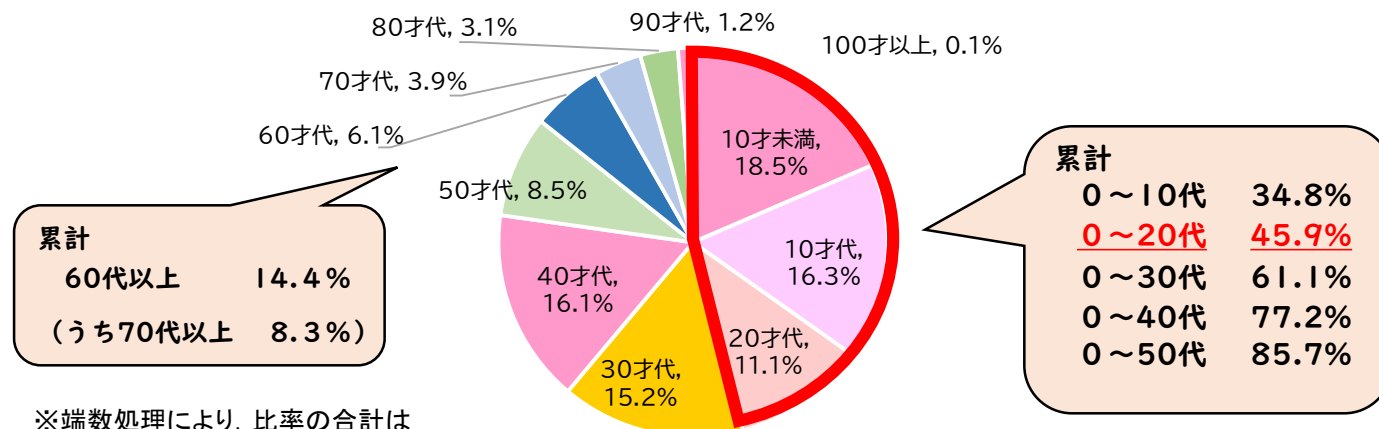
集団発生事例(7/12～7/18)

7月18日 学校	7月14日 乳幼児施設①
7月18日 医療機関	7月14日 乳幼児施設②
7月18日 乳幼児施設①	7月14日 高齢者施設
7月18日 乳幼児施設②	7月13日 乳幼児施設
7月17日 医療機関	7月13日 学校①
7月16日 高齢者施設①	7月13日 学校②
7月16日 高齢者施設②	7月12日 乳幼児施設
7月16日 学校	7月12日 学校①
7月16日 乳幼児施設①	7月12日 学校②
7月16日 乳幼児施設②	7月12日 学校③
7月16日 障害者施設	7月12日 医療機関
7月16日 職場①	7月12日 高齢者施設①
7月16日 職場②	7月12日 高齢者施設②
7月16日 その他	7月12日 職場
7月15日 医療機関	7月12日 その他
7月15日 学校	
7月15日 その他	

高知市の自宅療養者数

R4年7月17日現在
1,329人

（2）高知市内の直近1週間（7月12日～7月18日）までの年代別割合



※端数処理により、比率の合計は100%とならない場合がある。

2 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の状況について

(1) 高知市の年代別接種状況

高知市の新型コロナワクチン接種状況（年代別）

（令和4年7月19日時点の確定数）

年代	対象者数 ※1	1回目接種者数（％）	2回目接種者数（％）	3回目接種者数（％）	4回目接種者数（％）
65歳以上	97,096	90,865（93.6％）	90,239（92.9％）	82,990（85.5％）	9,567（9.9％）
60～64歳	19,880	17,702（89.0％）	17,608（88.6％）	15,486（77.9％）	604（3.0％）
50～59歳	42,918	37,667（87.8％）	37,475（87.3％）	29,763（69.3％）	51（0.1％）
40～49歳	48,408	38,006（78.5％）	37,683（77.8％）	25,573（52.8％）	30（0.1％）
30～39歳	33,677	25,255（75.0％）	24,907（74.0％）	15,043（44.7％）	9（0.0％）
20～29歳	29,132	22,763（78.1％）	22,370（76.8％）	12,066（41.4％）	12（0.0％）
12～19歳	23,723	16,782（70.7％）	16,498（69.5％）	6,375（26.9％）	0（0.0％）
5～11歳	18,747	2,984（15.9％）	2,574（13.7％）		
合計	313,581	252,024（80.4％）	249,354（79.5％）	187,296（63.5％）	10,273
60歳以上計	116,976	—	—	—	10,171（8.7％）
高知県実績 ※2	678,717	566,180＜83.4％＞	558,919＜82.3％＞	435,240＜67.8％＞	21,210
全国実績 ※3	122,023,782	103,800,378≪85.1％≫	102,437,005≪83.9％≫	78,871,295≪68.8％≫	3,684,600≪8.5％≫

※1 対象者数は、令和3年1月1日時点の住民基本台帳に基づく人口を使用

※2 高知県実績は、令和4年7月15日公表数値から計算した数値（4回目数値は接種者全数）

※3 全国実績は、令和4年7月15日公表数値から計算した数値（4回目は60歳以上の数値）

注）3回目の合計接種率は12歳以上人口を分母として計算

注）4回目の12～19歳の接種率は18歳以上人口を分母として計算

(2) 4回目のワクチン供給（60歳以上・基礎疾患等有する方）

国からのワクチン供給量

- 4回目の対象者数は約10万人を見込む（3回目接種済の60歳以上の方：約9万9千人 + 基礎疾患等）

（単位：回）

区分	第1クール (6/6～6/19)	第2クール (6/20～7/3)	第3クール (7/4～7/17)	第4クール (7/18～7/31)	合計
ファイザー	12,870	14,040			26,910
武田／モデルナ	27,000	27,000	21,000	0 (23,250※)	75,000

合計ワクチン数
101,910回分

※ 要望上限数

区分		令和4年度				
		5月	6月	7月	8月	9月
4回目 接種	ファイザー	5/30～ 接種開始	【26,910回分】			
	モデルナ		【75,000回分】			

ファイザー社ワクチンの
予約枠は8月中旬まで
以降、武田／モデルナ
社ワクチンを接種

(3) 12歳～17歳の3回目接種

12歳から17歳までの方の3回目接種はファイザー社ワクチンのみ可能

※18歳以上は、モデルナ社ワクチン、ノババックス
ワクチンも接種可能

12歳から17歳までの3回目接種用のファイザー社ワクチンを
確実に確保するため、接種希望調査を実施中（7/22まで）

■ コールセンターまでお電話をお願いします。
【コールセンター（0120-920-737）受付時間：9時から17時まで】
※土・日・祝も開設

8月15日(月)以降、市内5か所の医療機関で接種予定

ワクチンを有効活用するため、接種医療機関を限定

・愛宕病院 ・玉木内科小児科クリニック ・まなべ小児科・循環器科クリニック
・国立病院機構 高知病院 ・けら小児科アレルギー科

○ 施設園芸等燃油価格高騰対策の拡充について

- 施設園芸及び茶においては、経営費に占める燃料費の割合が高いため、計画的に省エネルギー対策に取り組む産地を対象に、農業者と国で基金を設け、補填金を交付する平成25年から施設園芸等燃油価格高騰対策を実施。
- 原油価格高騰の長期化が懸念される中、安定的な事業実施を見据え、農業者がさらなる高騰に備えられるよう、令和4事業年度に**臨時的に以下の拡充**を行う。

< 目的と基本的な仕組み >

施設園芸等燃油価格高騰対策の目的 燃油価格高騰の影響を受けにくい経営への転換

基本① 支援対象者

施設園芸農家3戸以上又は農業従事者5名以上で構成する農業者団体等。

基本② 省エネルギー等対策推進計画

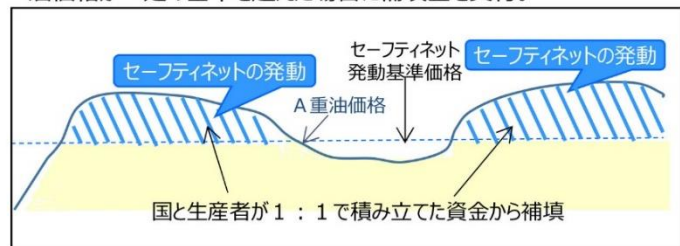
支援対象者は、3年間で燃油使用量の15%以上削減する省エネ目標と、目標達成に向けた取組を設定。

※ 初めて取り組む場合は3年間で10a当たり燃油使用量を15%以上削減、2期目以降に継続して取り組む場合は、3年間で10a当たり燃油使用量を更に15%削減するほか、**単位生産量当たり**燃油使用量を15%以上削減する目標（収量増で達成可能）を立て、計30%以上の省エネに取り組む。

計30%以上の削減を達成した者は、自身の削減目標を定め、更なる省エネに向けて不断に取り組む。

基本③ 施設園芸セーフティネット構築事業

- ① 支援対象者は、セーフティネットの対象期間を選択し、燃油購入数量を設定して補填積立金を納入（国と生産者が1：1で積み立て）
- ② 省エネルギー等対策推進計画の目標達成に向けて取組を実施し、燃油価格が一定の基準を超えた場合に補填金を交付。

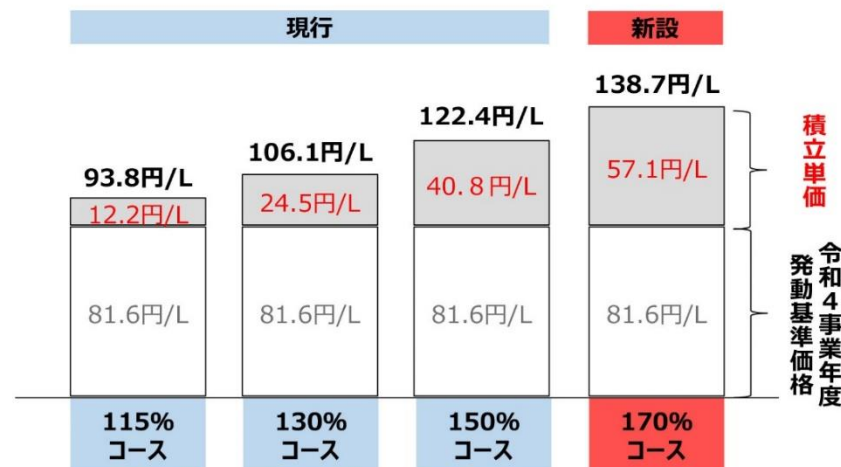


< 拡充内容 >

【拡充】積立水準の上限引き上げ

現行では、農業者が発動基準価格の115%、130%、150%相当までの高騰に備える場合のいずれかを選択して積立を行う仕組みであるが、**原油価格のさらなる高騰に備え、発動基準価格の170%相当までの高騰に備える選択肢を追加し、セーフティネット機能を強化。**

$$\text{補填積立金} = \text{積立単価} \times \text{燃油購入予定数量} \times 1/2$$



【お問い合わせ先】（施設園芸について）農産局園芸作物課（03-3593-6496）
（茶について）農産局果樹・茶グループ（03-6744-2194）